

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成25年6月6日(2013.6.6)

【公開番号】特開2012-92144(P2012-92144A)

【公開日】平成24年5月17日(2012.5.17)

【年通号数】公開・登録公報2012-019

【出願番号】特願2012-22511(P2012-22511)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 P 37/06 (2006.01)

A 6 1 P 37/08 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 P 37/06

A 6 1 P 37/08

【手続補正書】

【提出日】平成25年4月15日(2013.4.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

細胞表面上でP S G L - 1を発現する細胞を提供し；

該細胞を試験物質と接触させ；および

細胞を試験物質と接触させた後の細胞の生存率を測定し；

該試験物質と接触させないコントロールに比して生存率が低い場合には、該試験物質がP S G L - 1機能のモジュレーターであることを決定することを有する、P S G L - 1機能のモジュレーターに関するスクリーニング方法。

【請求項2】

該試験物質によって誘導される細胞の死を検出することを有する、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

該試験物質は、P S G L - 1に特異的に結合する抗体またはこの抗原結合断片である、請求項1または2に記載の方法。

【請求項4】

該化合物は、P S G L - 1に特異的に結合するモノクローナル抗体である、請求項1～3のいずれか1項に記載の方法。

【請求項5】

モノクローナル抗体を、該モノクローナル抗体に結合し、細胞の表面上の複数のP S G L - 1抗原の架橋を誘導する物質と接触させることをさらに有する、請求項4に記載の方法。

【請求項6】

該方法は、細胞の表面上の複数のP S G L - 1抗原の架橋を誘導することを有し、該架橋は細胞を死亡させるシグナル伝達経路を誘導するものである、請求項1～5のいずれか1項に記載の方法。

【請求項 7】

該細胞は、活性化 T 細胞である、請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 8】

該細胞は、C D 4 + T 細胞である、請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 9】

該細胞は、C D 8 + T 細胞である、請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 10】

大量の試験物質を製造し、該試験物質を製薬上許容できる担体中に配合することをさらに有する、請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の方法記載の方法。